

Rotary



国際ロータリー
第2620地区

御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2818回 例会プログラム

- 例会場／東山荘講堂 ●開会点鐘／12：30
- ロータリーソング／我らの生業
- 内 容／『これぞ職業奉仕』職業奉仕委員会

会 員 慶 事

- 会員誕生日／3月15日 勝又敏雄君 3月15日 神谷高義君
3月23日 勝又 淳君
- 結婚記念日／田代明人君 知子様 ご夫妻
瀬戸正人君 利恵様 ご夫妻
- 皆 出 席／3月11日 豊山 篤君(ロータリー歴22年)

3/5の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
53名	49名	45名	91.84%	100%

欠席者(4名) 梶 喜朗君 神谷高義君 瀬戸正人君 田代明人君
※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

会 長 挨 拶

豊 山 篤



本日は入会予定者の小栗幹一様を
例会見学にお迎えしております。来週の入会式が大変楽しみ
みです。

さて、ロータリークラブの年間テーマとして今月は、水
と衛生月間であります。SDGs（持続可能な開発目標）
においても、目標6「安全な水とトイレを世界中に」と謳
われており、2030年を達成目標とされております。

日本では、水は「安価で、安全で、無限にあるもの」
として存在し、日本中何処でも水道の蛇口をひねれば
安全な水を飲むことができます。

しかし世界に目を転じてみると、世界人口83億人のう
ち、水道の設備がない暮らしをしている人は21億人以上
おり、そのうち1億600万人は川や湖などの未処理の地
表水を直接飲んでいきます。(テレビなどの映像でたまに紹
介されます。)

34億人という膨大な人々が、衛生的なトイレのない生
活をし、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は3億
5,400万人も存在します。

17億人が家庭で基本的な手洗い設備を利用できてい
ない現状です。

SDGs 目標6の具体的な取り組みは、
・安全な飲料水 ・衛生的なトイレ ・水質の改善
・水の利用効率 ・統合的水資源管理 ・生態系の保護
・国際協力の拡大 ・地域コミュニティの参加
ですが、目標とは裏腹に現実は目立った進捗がありません。
なぜ改善が進まないのかは、
インフラ整備の遅れ：水源から家庭までの給水網が未整備。
資金不足：低所得国では水・衛生への投資が不足。
気候変動：干ばつ・洪水で水源が不安定化。
都市化の急速な進行：スラム地域での衛生環境が悪化。
紛争・政治不安：インフラ破壊や支援の停滞。
(紛争地での危機：紛争によってインフラが破壊された地域では、
コレラなどの水系感染症が再流行するケースが増えています。)
など、様々な理由が考えられます。

そのような世界の中で我々は、実情を知ること、目を
向けること、個々の職業人としてまたロータリアンとして
何ができるのか、何をしなければならないのかを考える
ことだと思います。

直接の活動が難しくても、ユニセフや国境なき医師団等
に寄付することも意味があることだと思います。

このようにロータリークラブの月間のテー
マは、きわめて大切な内容を持っているので、
改めて毎年確認することが、重要なことだと
考えます。



会長挨拶は
こちら

2/14のメーキャップ

8月23日 富士山一斉清掃 長田 崇君	2月11日 北海道Eクラブ 根上真一君	2月18日 北海道Eクラブ 鬼形慎太郎君
11月1日 オープンハウス 梶 喜朗君	2月13日 北海道Eクラブ 山内 剛君	2月19日 北海道Eクラブ 林 泰博君
12月7日 地区大会 勝又 淳君	2月14日 北海道Eクラブ 神谷高義君	2月22日 北海道Eクラブ 齊藤礼志君
2月7日 北海道Eクラブ 池谷正徳君	2月16日 北海道Eクラブ 池上 司君	2月25日 北海道Eクラブ 高橋隆造君
2月9日 北海道Eクラブ 芹澤隆博君	2月16日 北海道Eクラブ 白井良太君	2月27日 北海道Eクラブ 柏原大地君
	2月18日 東京ピースウィング 勝又安彦君	2月27日 北海道Eクラブ 田代明人君



よいことのために
手を取りあおう

3月19日
は休会です

次 回
3月26日の
例 会

★東山荘記念館 ★12:30
★PELS, SELS報告
会長エレクト・幹事エレクト



新会員卓話

空調と向き合い35年、そして夢の続きへ』

林 泰博君

皆様、こんにちは。昨年の7月入会しました、檜工業の林 泰博です。本日はこのような卓話の機会をいただき、有難うございます。

檜工業株式会社は先代社長の林準が1968年に川崎市でおこし、御殿場市に移転後何度か工場を変えながら現在は2009年から富士御殿場工業団地で操業しています。

今回はこのように会社事業紹介を中心にしたので、今回は趣旨を変え私個人の個性や考えを知っていただくために私の生い立ちや、経営の考え、家族の紹介や、社会貢献と夢の続きについてお話しさせていただきます。

■倒れるまで走った少年時代

私は昭和43年生まれの57歳です。東京オリンピックの開催の4年後で、日本が高度経済成長に入り大変活気のある時代に、親父・林準が川崎市幸区で檜工業を創業しました。

経済の波に乗り事業拡大し、昭和49年、手狭な川崎から故郷である御殿場に会社移転をし、それに伴い6歳で御殿場市に移り住みました。

子供時代は南小南中学で少年野球と陸上に明け暮れていました。朝の3km自主練やマラソン大会出場のことばかり考えている子供でした。沼津東高校に通ってからは引き続き陸上部に所属し、1万メートルや3千メートル障害の長距離種目を走っていたので、当時エスピー食品のエースだった瀬古利彦をめざせと父親から無理難題を言われ大変でした。

あの時の挫折感は今も鮮明ですが、リハビリ中に見た南海ホークスの泥臭い勝負強さに勇気をもらいホークスファンになったのもこの高校時代です。

■突然の別れと、家業への決意

東京の大学へ進学し、希望に燃えていた矢先、病弱だった母が47歳で他界しました。サークル活動に興じる余裕はなく寂しさを埋めてくれたのはバイク仲間とのツーリングでした。ヤマハの中型バイクで東北や九州の風を切ったあの時間は私の人生における「自由」の原風景です。

また語学留学や大学卒業旅行でアメリカ文化に触れ海外への憧れが生まれました。

しかし就職を考えた時に「長男として家業を継ぐべき」という親の洗脳にまんまとひっかかり、家業の取引先である東京の空調設備工事会社に入り8年間お世話になりました。

した。その工事会社での労働量は過酷で深夜まで月300時間働いたこともあります。やくざまがいの職人と対峙したこともあり、正直に言えば、「他の道もあったのではないかと後悔の念がよぎったこともあります。この修行時代が私の背骨を作り仕事への忍耐を養いました。

■自分らしい経営、地域企業への貢献。

8年の修行を終え檜工業に入社する前の2ヵ月間は、前職で働き過ぎた反動でアメリカ人旅を実行してメジャーリーグ観戦や国立公園巡りの楽しみを覚えました。

特に印象深いのは、アメリカを横断する多国籍軍の10名ほどのワゴンツアーに参加した時に、外国人メンバーからヤスはもっと食べたいもの、行きたい場所などはっきり主張した方がいいと繰り返し指摘されたことで、1ヵ月後のツアー後半ではそのようになりました。

檜工業に入社してから、大学時代のバイク、パソコン、海外への憧れがすべて仕事に結びついたので、最終的には親孝行できたと自負しています。

具体的にはバイクエンジンから車エンジンに関心が拡がり、自動車メーカーの生産ライン用の製品開発を進め、海外輸出向け仕様書を英語で作成し販路を広げました。

入社時はFAXだけのアナログ製造業だったところから社内システムを設計し、25年経った今も現役で使える生産管理システムを構築。

2010年社長に就任後は同業者と敵対せず営業協力や協業を心がけて経営してきました。その種が花開き今では同業者からの製品注文や地域企業との業務連携が実現しています。

近年、半導体工場設備など国家の大きな投資プロジェクトで中国や台湾企業に注文が流れていく状況を見るにつけ、日本企業同士が戦わずに支えあう重要性をより強く感じています。今後も建築プロジェクトで協業できる事業者様との連携を強めていきたいので、遠慮なくお声がけください。楽しみにしています。

■終わりに：結びとして

今の年齢で身に染みる言葉は吉田松陰の座右の銘でもあった孟子の言葉

「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」
〈読み：しせいにしてうごかざるものは、いまだこれあらざるなり〉〈意味：至誠（この上ない誠実な心）を持って尽くせば、動かさないものなど何一つない。〉夢や理想を貫く覚悟を持つことです。

「人生は、後半戦が面白い」そう確信しながら、次世代の人材育成や交流に力を尽くす。それが私なりの社会貢献と恩返しです。

これからも地道に進んで参ります。ご清聴ありがとうございました。

3/5のスマイル

- マグロ釣りました。 芹澤正明君
- 気球が広報ごてんばの表紙になりました。 斎藤 衛君



司会 永木栄太郎君



出席報告 柏原大地君



ソングリーダー 勝亦敦志君



会員誕生日 勝間田太住君